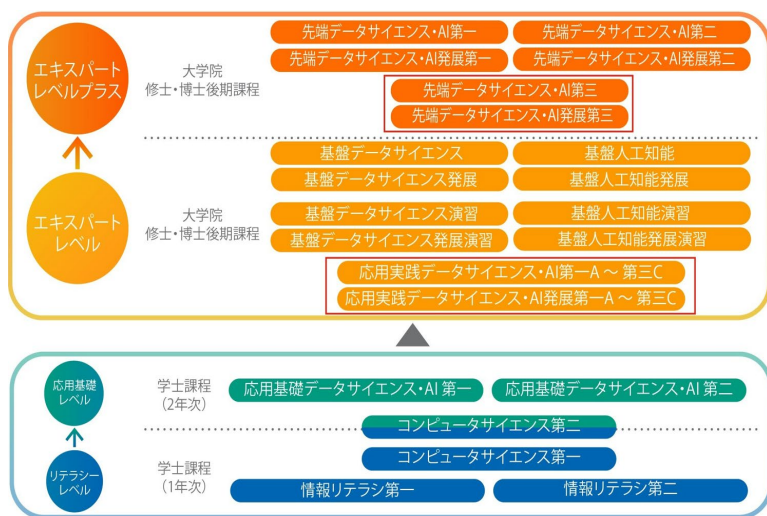


大学名 東京工業大学

第72号 特集テーマ「データ人材の育成」

表題 領域横断的に社会的課題を解決できる「共創型エキスパート」人材の育成

DX(デジタル・トランスフォーメーション)が急速に進む現代社会において、データサイエンス・AI(DS・AI)は、社会生活・産業・研究開発などあらゆる分野において、必要不可欠な知識・技術です。東京工業大学データサイエンス・AI全学教育機構は、理工系総合大学である特徴を活かし、所属する学院の専門分野に依らず、①DS・AIを駆使し、②DS・AIで交わり、③DS・AIを教えることのできる「共創型エキスパート人材」の育成を目指す全学教育プログラムを実施しています。

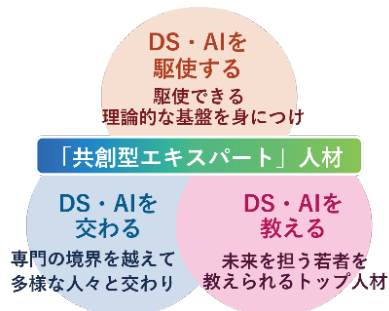


Pick up ! 「応用実践系科目」:データサイエンス・AIの社会実装を学ぶ

大学院向けプログラム「エキスパートレベル」では、「基盤系科目」でデータサイエンス・AI技術の理論を学び、「応用実践系科目」で技術の社会実装を学びます。「応用実践系科目」は、金融系・素材系・製薬系・IT系・建築系・電子機器系・重工業系・自動車系など、幅広い分野の連携企業(44社)が講義を担当しています。産業界の各分野におけるデータサイエンス・AI技術の活用や社会的課題の解決を学びます。

受講生からのコメント

- ・実社会でどのようにデータサイエンス・AIが応用されているかがわかり、データサイエンス・AIを利用する際の考え方が身についた。
- ・様々なビジネス分野で実用化に用いられていることを知り、自発的にデータサイエンス・AIを勉強するモチベーションを高めることができた。



Pick up ! 「先端データサイエンス・AI(発展)第三」:大学院レベルの「AIと社会」を学ぶ

AIの急速な進化は私たちの生活の利便性を向上させる一方で、社会的な影響ももたらしています。未来の社会を主導するためには、データサイエンス・AIの技術だけではなく、社会に対する深い理解や広い視野、そして優れた問題解決能力が求められています。大学院学生向けの新設プログラム「エキスパートレベルプラス」の「先端データサイエンス・AI(発展)第三」では、文理の枠にとらわれない幅広い視野を涵養し、情報社会におけるAI倫理、情報法制度、及び、責任あるAIを実現するための技術に焦点を当てています。受講生は、現代の情報社会における倫理的・法的・社会的課題を自ら思考できることを目指します。

参考URL

・データサイエンス・AI全学教育機構HP
<https://www.dsai.titech.ac.jp>

・データサイエンス・AI全学教育プログラム概要
<https://www.dsai.titech.ac.jp/program>